

ラウンドアバウト現地視察 (静岡県焼津市 関方交差点)

平成26年5月16日(金)

道路利用者会議常任理事
(社)千葉県バス協会会長
大室 健

①バス事業者からみたラウンド・アバウト現地視察感想

- 「止まれ」の案内看板は不要。(複数の看板が存在し分かりにくい)
- 停止線と交通標識があれば、案内看板が無くても停止すると思われる。
- 標識、看板類が多く、景観を損なっている。



- 小型車が直進する際にエプロンを踏み、ほぼ直線で走行し、交通量も少なく、見通しが良いため、比較的早いスピードで通過していた。
- 環道内を走行する車両が、一旦停止している進入側の車両と譲り合う場面が多々あった。
- 環道内優先の案内徹底とあわせ、4方向全てにおいて停止線が「必要」と思われた。

②大型観光バス(全長12m)の軌跡



- 低速走行であれば軌跡は全く問題ない。
- ゼブラを踏まずに走行する事も十分に可能。

③プロドライバーからみたラウンド・アバウトの感想

- 一旦停止を事前告知するための複数の看板は不要。通常交通標記（停止線および一旦停止標識）があれば十分。
- 一旦停止は事故防止の観点から必要と思われる。無くすのであれば、明らかに道路幅員が異なり、一目でどちらが優先かわかる際に優先側（交通量が多い幹線道路側）の一旦停止を無くしてはどうか。
- 進入角度は問題ない。縁石への接触も心配ない道路幅員である。
- 反対車線への誤進入の可能性はない。（左折するように誘導されている）
- 歩行者、自転車については、周辺が農地のため見通しがよく問題ないと思う。住宅地の場合には見通しが悪くなり、また、飛び出しもあるため死角になりやすいのではないかと。また、左折時（進入時）に後方から直進のバイク、自転車が進入してきた場合の巻き込みは心配。
- 速度がゆっくりであれば大型車両でも問題なく走行できる。関方交差点よりも大型の交差点であれば、距離が長くなり、もう少しスピードがのるため走りやすいと思った。
- 運転士略歴 ... 大型経験20年（うち、バス経験16年）。
ラウンドアバウトの走行経験なし。